

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、10～19℃台を示し、低め～やや低めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網—西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり8トンの水揚げで、前週を上回った（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり0.8トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり1.1トンの水揚げで、前週の73%（前年を下回った）。
- イカ釣—スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり93kgの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり3.3トンの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。ケンサキイカは、五島奈留地区では、1日1統当たり3kgの水揚げで、前週の60%（前年を上回った）。
- 定置網—五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり684kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり41kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり72kgの水揚げ。
- 一本釣—北松宇久地区では、ブリが1日当たり165kgの水揚げで、前週の49%（前年並み）。野母地区では、マアジが1日1統当たり17kgの水揚げで、前週の1.3倍（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（2/25～2/28の4日間）沖合イカ釣（船凍船）は、山口沖で操業するも今月末で漁期終了となる。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐諸島周辺～能登半島沖～佐渡沖で操業。鳥取県西部（沖合船）2日延12隻、総計220箱、1航海最高40箱、平均18.3箱。スルメイカを漁獲、魚体は20～30入。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>